

青 少 協

第31号

発行日:令和5年1月10日
発行者:那珂川町青少年育成協会



だ よ り

青少年の安全なインターネット利用を願って

青少年育成協会 会長 矢後紀夫

コロナ禍の終息もなかなか見えないまま今日に至っており、子ども会育成会活動にも未だ大きな弊害をもたらしております。1日も早く子どもたちが元気に遊びまわったり、大声で笑ったりしている姿が見られることを願っています。今、子どもたちは学校以外でどうやって友達とコミュニケーションをとっているのでしょうか？小学校高学年くらいになると、何らかの端末を使って大人同様にSNS（ソーシャルネットワークサービス）による交流が、今では主流になりつつあると誰もが認めるところでしょう。

LINE、Twitter、Instagram…そのアプリケーションの種類は多く、特化性を持っていてユーザーは用途によって使い分けます。子どもたちは、それらのアプリケーションを巧みに使い分けてコミュニケーションツールとしています。私は、外で元気に遊ぶ大勢の子どもたちの姿を見たい気持ちはありますが、コロナ禍でそれが叶わないのであれば、SNSでのコミュニケーションは悪いものだとは思いません。ただし、*ネットリテラシーが身に付いていればという前提があります。ネットリテラシーが低いと、個人情報の漏洩やハッキング、ウイルス感染などの被害に遭います。安易に友達と撮った写真をネット上に掲載したばかりに、背景の建物や景色により撮影場所を特定され、簡単に居住区や行動範囲が明らかにされます。他人に重要な個人情報を知られることにより犯罪に巻き込まれることもあります。しかも一度流失した情報を取り消すことはまずできません。「発信した情報は常に誰かに覗かれている。」と子どもたちに指導していく必要があります。

保護者、指導者、育成者の皆さん、子どもたちがどのようなインターネットの使い方を行っているか把握していますか？安易に位置情報や個人情報が特定できる写真のやり取りなどをしていませんか？情報の公開と発信のボーダーラインは決めていますか？時々、子どもたちと話し合ってみてください。インターネットでは、友達や家族とだけではなく、世界中の人たちと繋がっていることをよく教えてください。まず私も含め、大人がネットリテラシーの重要性を深く理解し、それを子どもたちにしっかり伝えられるようになる必要があります。

*ネットリテラシー…インターネットを正しく使いこなすための知識や能力。インターネットリテラシーともいう。

安全な雪山ハイキング、雪遊びのために

青少年育成協会では、2月4日（土）になす高原自然の家で「子ども会わくわく体験キャンプ～スノーシューハイキング～」を開催します。すでに募集は終了しましたが、子ども会やご家族で、安全に雪山ハイキングや雪遊びをするために、危険予知訓練（KYT）をやってみましょう！下の写真を見て、「どんな危険が考えられるか」「どんな対策があるか」を、写真の説明も読んでから、考えてみましょう。答えの例はこのページの下にあります。



友達と一緒に雪山ハイキングをしています。普段着ている暖かい服と毛糸の手袋で寒さ対策もバッチリ！

くつは滑りにくい雪山ハイキング用のチェーンスパイク付きです。



下半分をかくしてチャレンジしてみてください！



危険予知訓練の解答例とその対策

- 雪山は、いつも着ている服では寒さ対策にはなりません。雪山用の防水効果のある服装がベストです。
- 毛糸の手袋は、防水性が低いので、ぬれたまま着用していると、凍傷になる可能性があります。手袋も防水のものを用意しましょう。
- チェーンスパイク付きのくつは正解ですが、スパイクに雪玉がからみ、バランスをくずして足首を痛めることが予測できます。
- 雪に反射した日光を見続けると雪目になります！サングラスかゴーグルを着用するとよいでしょう。

※雪目…紫外線を浴びることで起こる目の表面が傷つくこと。

上の例のほかにも、たくさんの危険があります。雪山に行く前に危険を予測しておくことで、友達、家族みんなが安全に楽しい思い出を作ることができます。



那珂川町

青少年健全育成町民大会

令和5年 2月26日(日) 開演 13:00~ (開場12:30~)

小川総合福祉センターあじさいホール **入場無料**

善行表彰 地域に貢献する活動を行った青少年を表彰します

JVCによる子ども会わくわく体験キャンプ活動報告

講演会・ミニコンサート

39歳で歌手デビューした木山裕策氏から、何歳からでも夢に向かって挑戦していく生き方、そして、コロナ禍であらためて見つめなおした家族の大切さ、家族のぬくもりについてお話いただきます。



講師

木山 裕策 氏

1968年生まれ、大阪府出身。

2008年「home」にてメジャーデビュー。

紅白歌合戦出場。4人の子育てで「主夫」を経験。がんを患いながらも歌手を目指し、夢を実現させた。現在も歌手としてテレビ出演や公演会など多岐にわたり活躍している。

申し込み先 那珂川町教育委員会生涯学習課

- 【氏名、連絡先、託児の有無】を窓口、電話又はメール（件名：青少年健全育成町民大会申込）にてお申し込みください。（先着250名）
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、内容等が変更になる場合があります。
- 入場の際は、マスクの着用をお願いします。

主催 那珂川町青少年育成協会・那珂川町教育委員会

問合せ 那珂川町教育委員会生涯学習課

☎ 0287-92-1135 メールアドレス sgaku@town.tochigi-nakagawa.lg.jp

那珂川警察署からのお知らせ

ルリちゃん安全メール



警察では、皆さんが安全で安心な生活を送るために参考にしていただきたい情報を、警察署ごとにパソコンや携帯電話（スマートフォン）にメールで配信しています。

1. どんな情報が配信されるの？

- 子供や女性に対する不審者情報
（声かけ、つきまとい等）
- 特殊詐欺情報（詐欺被害、詐欺手口等）
- 交通安全情報（事故発生状況等）
- その他犯罪情報
（熊等の出没等）
- 警察からのお知らせ
（イベント情報等）



2. どうやって登録するの？

- ①右のQRコードを読み取り、空メールを送信
- ②返信されてきた登録案内メールの内容に従って入力
- ③登録完了メールが返信されてくれば登録完了
※携帯電話の場合、機種によってご利用できない場合もあります。



ながら見守りで地域の防犯力アップ！

「ながら見守り」とは、生活や仕事の中に「防犯の視点」をもって、子どもたちの安全を見守っていただく活動です。地域の皆さん一人一人のちょっとした声かけや見守りが地域の防犯力アップにつながりますので、できる範囲でご協力をお願いいたします。



子どもたちの登下校の時間帯に合わせて、散歩や庭先の掃除をしながら、見守っています！

周囲の交通状況等に注意しましょう。

地域を車で回りながら、できる範囲で防犯に協力しています！

